

1978.7.23

日韓JIM交流会に参加して

(2)

日韓JIM(都市産業宣教)交流会は、5月17日から木原のアカデミーハウスで三日間開かれたが、その前に二日間、現場研修のプログラムが組まれていた。

日本から参加した九人のメンバーは二つのグループに分かれ、韓国でのJIM活動の現場を訪問した。一日目は、東一村の女子労働者の歸いで知られる仁川JIMと永登浦JIMに分れた。私は永登浦JIMを訪れた。

永登浦はソウル市内にあり、中区街から地下鉄に乗り20分位のところにある。永登浦は工場地帯で大小の工場が林立している。永登浦の駅には多くの高い宣教師が迎えに来てくれた。その人が、6月19日宣教師としてのビザが韓国政府によつて更新されず追放されたオーストラリア人宣教師・ラベンダーさんであった。工場内を見学してからJIMの事務所に行つたが、途中、邦林新中・邦林幼稚園へ坂本幼稚園へと外からながめだ。邦林幼稚園は六千人の労働者をもつ大きな工場であった。

永登浦は二つのJIMの両方に言えることだが、訪問する前にもつて、私のイメージとは大分違うもの

あるが、どうもJIMも主に女子労働者を対象として「労働基準法」の學書を行なつたり、信用組合・消費組合を推薦したり、あるいは解雇された労働者とともに直接会社側と交渉したりしていた。

北JIMは、邦林幼稚園の女子労働者も数多く出入りしており、朝の出勤前の一時間、「労働基準法」の學習あるいは漢字の勉強などをしている。漢字を書うのは漢字を知らないため不利な効果を十二分に發揮されることである。

北JIMでは主にラベニターさんから話を聞いたところによると、今韓国政府はJIMを目の当たりにしているがその中でも特に仁川と永登浦のJIMに攻撃を加えてきているということだ。5月の初めには北JIMのイン・ミョンソン牧師が逮捕され、また信用組合が取扱行員としたとして二千万円の罰金と請求されている。そして、連日のようにJIMの眞面目を呼びつけて、信用組合に加入している六百人の名簿を出せと要求している。私たちがラベニターさんの話を聞いていた間に、もも麿田が来たし、途中で帰つてきた女子組合の話と聞くと、今まで耳び出しとうけて取り調べをされていだなどいうことだった。

永登浦は二つのJIMの両方に言えることだが、訪

1978.7.23

だつた。そのひとつは事務所にはかなり大きくなりJIMの看板が掲げられていたことである。看板を出すのは考えればあたりまえのことだろうが、キビシリボヌ下にあるにもかかわらず堂々と看板が出てしまつた。

北のJIMは5階建の公団住宅の1階の二軒を賣りたようになつていて、事務所・自所・食堂の間に15~20帖ぐらいいの集会室があつた。南北区のキヨンスリMは一戸建の家であるが4部屋あり、庭には卓球台がひいてあつた。

南のJIMを訪ねた時、ちょうど集会室で15~16才ぐらいの女性が約30人、牧師を囲んで話をしていた。後で聞いたところによると彼女らは解雇された女子労働者で、会社側が退職金も出さないでJIMの牧師が間に入り、一ヶ月の給料の約%の退職金を出させるべく交渉しここる最中であった。話の途中にも牧師が5人の女子労働者を連れては事務所を出てはき会社側と交渉して退職金を取つてくるとこうしたこととく見えしていられた。

その奥の部屋では、約20人はどの別のケループが座りこんで歌と歌つてられた。私たちもそれに加入してもらつたが、歌つてゐる歌はおそらく禁止されてはいるようならば労働歌が中心であった。自由を表めるもの、労働者の人権を求めるもの等であった。このような歌

を大きめ声で歌しく歌つてゐる所にはふざいた。

翌17日は、午前中にソウルの北部にあるスマッシュウォル教会と訪れた。トンウォル教会は永登洞JIMに比べるとみすぼらしいものだつた。ソウルの中ハ街から車で20分ぐらいのところにあり、山の斜面にスマッシュがひろがつてゐる。タクシーをおりてから砂ぼこりのたつがなり瓦釜とほつていくとトンウォル教会があつた。門のすぐ左に簡単なかごしとしただけの便所があり、奥には井戸があつた。礼拝堂は20帖ぐらいあるがオードルもなく、屋根はトタンでその上にはトタニが飛ばないよう大きな石がいくつもならべてあつた。日曜日の礼拝にはここに40~50人のスマッシュの人々が集まるという。

教会には許多牧師が参りてゐるが、他に韓国神学大学の学生がそこにはみつき、教会の仕事をしながら大学に通つてゐる。大学生の生活してゐるところは礼拝堂の隣の4帖半ぐらいの部屋であるがオードルはなく、すき間風が小き抜けするようなところであった。夏はまたしも、冬はこれでは本当に大変だらうなあと思った。

雨がふれば鉄筋木が氷れるというスマッシュの破壊をおいて再びタクシーにのり、鐘路五街のキリスト教会館にもどり、午後、そこを出発して木屋のアカデミーハウスに向つた。

— フラグ —

(延田雄一)